

5 中学校編

(1) 各教科の結果・分析の概要

【国語】

話の内容や構成を正しく聞く力、物語の展開に注意して登場人物の心情をとらえる力、書いて伝えたい事柄を正しく分類する力、漢字を正しく読む力や、慣用的な表現や文の成分に関する正しい理解などが身に付いている。

文脈における語句の意味を正しく理解しながら読む力や、文章の内容や特徴について正しく理解しながら読む力、必要な情報を選び、構成を工夫して書く力、文章や資料、グラフや図表等を読んで考えたことを根拠や理由を明らかにして決められた字数で書く力などは今後一層高めていく必要がある。

【社会】

地理的分野では、八方位の理解や等高線を用いて高さを求めること、統計資料等からデータを正しく読み取る力などが身に付いている。歴史的分野では、各時代の代表的な文化財の理解や時代の特色を示す資料から事実を読み取る力などが身に付いている。

地理的分野では、時差の計算や、数値のグラフ化、略地図を描くなど、地図等を活用する力を、歴史的分野では、「世紀」など年表の基本的な事項の理解や、複数の資料から読み取ったことを基に自分の考えを記述する力をそれぞれ一層高めていく必要がある。

【数学】

正の数、負の数の計算技能、文字式と同類項をまとめたり分配法則を用いたりする計算技能、一次方程式や連立方程式を解く力、事象の意味をグラフから読み取る力はおおむね身に付いている。また、昨年度まで課題であった文字式の意味を読み取る力は改善されてきている。

整数の性質を文字を使って説明したり、新たな整数の性質を発展的に考える力、比例や一次関数において表やグラフから式を求める力、証明の中の仮定や結論を理解し正しい証明を考える力などについては今後一層高めていく必要がある。

【理科】

液体から固体に状態変化した時の体積変化などの基本的な内容はよく理解されている。また、光の屈折を身近な物理現象と関係付けて考えるなどの科学的な思考力、安全に配慮して煮沸実験を行ったり顕微鏡を操作したりするなどの観察・実験の技能はおおむね身に付いている。

溶解度、水溶液という言葉や化学式についての理解、植物の呼吸について目的を明確にして実験を計画する力、圧力について日常にみられる現象を学習した科学的な言葉を活用して適切に表現する力については今後一層高めていく必要がある。

【英語】

短い英文から具体的な内容を正しく聞き取ったり、ある程度まとまりのある英文から大まかな内容を聞き取ったりする力、ある程度まとまりのある英文を読んで、具体的な内容を正しく理解したり、概要や要点を大まかに理解する力はおおむね身に付いている。

問かけから話し手の意向を理解して適切に応答したり、文章や会話の流れから文脈に合う英文を選択したりする力、伝えたい内容が読み手に伝わるように適切な表現を選択し正しい文構造で表現したり、まとまりのある英文を書いたりする力は今後一層高めていく必要がある。特に言語材料は学年が進むにつれて複雑になるので、繰り返し習熟を図り続け、表現する際に活用できる力にまで高めていく必要がある。